



ビクトリアの滝



ザンビアのお土産

# NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会 ニュース第 26 号 (H26.5.18)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



はじめに 5月、新緑萌える時期で、梅雨のはじまる前の明るい季節になりました。皆様方、連休はいかがお過ごしでしたでしょうか。

さて、山元香代子先生のザンビアでの活動状況がテレビ放映されて以来、多くの皆様の温かいご支援をいただき重ねて心から感謝申し上げる次第です。

今回は会の経過報告、現地ザンビアでの活動状況、併せてザンビア情報等をお伝えします。

## 会の経過報告

4月16日に県の担当課に「認定NPO法人」の申請書類を提出してきましたがその後の連絡がないため、今後のスケジュールをお尋ねしたところ、約6ヶ月はかかるとのことでした。宮崎県では初めての「認定NPO法人」の申請ですので、やはり時間がかかるのでしょうか。

5月14日、公認会計士の當房さんと打ち合わせをしてきました。入力用のエクセル表をいただき、今後はこの表に入力することで、あとは会計ソフトで帳簿等作成できるとのこと、かなり会計処理が楽になります。本来ならそれなりの謝礼が必要なのですが、特別料金で処理していただけることになりました。ありがたいことです。



## 現地活動報告

### (山元先生からの巡回診療等状況報告)

みなさまお元気ですか。連休が終わって、いかがお過ごしですか。

ルサカは、4月20日過ぎに一度激しい雨が降りましたが、それ以降はいいお天気が続いています。カナカクタパへ行く道沿いには、黄色い花が咲き乱れ、お花畑の中を通るようです。運転手がマリーゴールドと言いましたが、花の名前はよくわかりません。写真をご覧ください。

本当に多くの方々に支援をいただきありがとうございます。病院あてに



直接お金を送っていただいたり、テレビ局に本を送っていただいたりと、住所やお名前がわからず、この場をお借りしてお礼申し上げます。

4月23日のルアノの巡回診療は、患者数160人、92人がマラリア陽性、陽性率66.2%、うち5歳未満児は30人、陽性率66.7%でした。5月7日はムワンタヤに出かけました。ここでは患者数201人、76人がマラリア陽性、陽性率45.8%、うち5歳未満児は23人、陽性率34.3%でした。ムワンタヤでは、陽性率が低いと思われるかもしれませんが、これは歯痛や下痢などの発熱の訴えない患者まで、マラリア検査を受けているからだと思われます。ただ、発熱の訴えがなく、



また平熱の患者でも全身倦怠感、体の痛みを訴える患者の多くがマラリア陽性のことが多く、どこで検査の線引きをするかとてもむずかしいところです。私は小児科学会でも、2012年と2013年のマラリア陽性率を比べて、2013人は明らかに減少しているので、私たちの活動の成果ではないかとお話しましたが、どうもそうではないようです。おはずかしい限りです。現地のスタッフに聞くと、今年は雨が多くなかったため、あちこちに水たまりができ、蚊が繁殖しやすかった。ところが昨年2013年は雨がとても多く、水たまりなどは押し流されて、蚊があまり繁殖できなかつたのではと説明を受けました。今年はとにかくマラリアの患者が多く、チペンビヘルスセンターでも抗マラリア薬のコアテムが在庫切れで、私たちが届けたりしています。一緒に活動している準医師のムレタさんの住むチボンボ郡の20マイルという地域（人口約7,000人、大きな道路から平坦な道を30分ほど入ります）では、1月以降子供18人、大人5人がマラリアのために亡くなったそうです。ヘルスセンターが遠く、連れていくのが遅くなったり、またヘルスセンターに十分な薬剤のないことが原因のようです。ルアノでは、今年に入り、マラリアで亡くなった人はいないので、少しほっとしています。ムレタさんには、近くのヘルスセンターの許可をもらい、コアテム、マラリア検査キット、パラセタモール（解熱剤）などを常備し、マラリアの治療だけはしていただくようお願いしました。もちろんボランティアです。コミュニティヘルスワーカーと一緒に活動する許可がもらえたので、将来的には、村人にレンガを焼いてもらい、屋根やドアを提供して、小さなヘルスポストを建設できたらと考えています。ムワンタヤでは、1歳の男子がマラリア陽性で、すぐにコアテムを内服させるように話したのですが、手違いで母親に説明するにとどまり、その場で内服させず、母親はお菓子を子供にあげていたようでした。そして痙攣がて、コアテムとパラセタモールを内服させ、2時間ほど観察して、落ち着き、熱も下がってきたので帰宅させました。その約1時間後、再度痙攣が始まったと言って、母親が連れてきました。40度以上の発熱があり、熱性けいれんも否定はできませんが、一番怖いのは脳性マラリアです。すぐにキニンの筋肉注射を行いました。その2時間後にはすっかり元気になり、クッキーを食べ始めました。もちろん経過観察のためヘルスセンターに連れていきました。誰かがキニンマジックと言っていました、同感でした。

ムワンタヤでは、写真のように、以前はわらで囲った建物で診療をしていましたが、住民たちがレンガを焼き、積み上げ、私たちがトタン屋根を提供して建物が完成しました。3部屋あり、妊婦健診室、診察室、調剤室として使えます。





ドア、窓枠とガラス、セメントを提供して完成させたいと計画しています。

今週から後期分のコミュニティヘルスワーカーの研修がカナタパヘルスセンターで始まり、食糧の手配に追われています。チキン、牛肉、魚、卵、パンなどを3-4日おきに届けなくてははいけません。いかに安く購入するか、頭を悩ませています。

どうぞお元気でお過ごし下さい。これからもご支援よろしくお願ひ申し上げます。



### ザンビア情報

今回もザンビアのお土産を写真でお伝えします。いずれも山元先生からいただいた物です。一番左はネックレスです。細かいビーズで作られています。様々な色がついています。まん中上はビーズで作られたカバで、下と右の写真は木で作られたブレスレットです。ぜひ一度ザンビアに行ってみつけてください。



### 賛助会費の納入について

賛助会費(一口 5000 円、一口以上)の送金と連絡をお願いします。連絡先は法人代表 [info@ormz.or.jp](mailto:info@ormz.or.jp) または日高 ([hidaka1956@gmail.com](mailto:hidaka1956@gmail.com)) へ。またできる限り多くの方に賛助会員になっていただくようお願いのご協力もよろしくお願いします。

#### ★郵ちょ銀行からの振替

口座記号番号：01720-9-126351

加入者名：NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

#### ★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行 店名：一七九、 預金種目：当座、 口座番号：0126351

加入者名：NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称(全角)：トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウオシエンズルカイ (注：ヲ→オ)

\*今後ともご支援のほどよろしくお願いします。